

1 単元 絵カードで行うことばの学習

2 目標

- 絵カードに関心をもって学習に取り組もうとする。
- 教師の質問を聞いて、単語や簡単な文で答えられる。
- わからないことを質問できる。
- 絵カードを見ながら、簡単に説明ができる。

3 指導にあたって

本単元は、絵カードを用いて場面を把握する力をつけたり短期記憶を高めたりすることのほか、表現力をつけることをねらいとしている。場面を把握することにおいては、自閉傾向のある生徒は小さな部分に固執して、全体像をつかむことが苦手である場合が多い。また、言語力や表現力も乏しいことから、何かの場面や状況を人に伝えることは非常に難しい。つまり、固執する部分を単語のみで表現し、誰が何をしている等の文章での表現が難しいために、それを聞いた人は何がどうだということを理解できないことになる。自閉傾向のある生徒とのコミュニケーションを図ることが難しい原因のひとつがそこにあると考えられる。また、短期記憶の力をつけていくことも普段の生活の中で非常に大切なことだと実感している。自閉傾向のある生徒は、直前に見たり聞いたりしたことが、その直後の行動に生かされないことがよくある。そのため、他者からの指示や確認作業が減らない。しかし、それは、自閉傾向のある生徒が受け身になるばかりでなく、周囲との人間関係を指示する側と指示される側という関係を決定することになり、コミュニケーション力を高めるためにも決して望ましくない。このようなことから、絵カードを用いたことばの学習は、自閉傾向のある生徒にとって有効な学習手段であると考えられる。

本学級のAは、自閉傾向があるが、人への興味や関心は高く、目を見てあいさつをしたり質問したりすることができる。しかし、声が小さく発音も曖昧で、こちら側からの質問はほとんどオウム返しをするので、会話が成り立つことはあまりない。コミュニケーションを図ることが難しいが、興味のあることや大切なことについての会話は、成立することもある。また、返答の代わりに行動で示すこともあり、言語力や表現力は未熟であるが人とコミュニケーションを図ろうとする気持ちは感じられる。喜怒哀楽も表情で見取れる。学習への取り組みは、意欲はあるものの集中が短いことや自信をもてないことで積極的な取り組みとは言えない。どの学習においても、答えが合っているかどうか、始めてよいのかどうか、続けてよいのかどうか等を必ず教師に確認してから行動している。それは、間違えることを過度に恐れているのか、または完璧でないと気が済まないことの表れかもしれない。いずれにしても、間違いを気にせず、自分の思った通りに答えを出していくような姿勢が、伸び伸びと生きることにもつながっていくものと考えられる。

そこで、Aが好きなカードを用いた学習であれば、興味をもって楽しく学習できるのではないかと、また一問多答のような発問の仕方であれば、間違いを気にせずに答えられて学習が楽しく感じられるのではないかと考え、本単元を設定した。生徒が自分の考えを自由に発言できる雰囲気を作り、自信を高めるような支援をしたい。

4 指導計画 (10時間)

第一次	絵の完成と説明	4時間
第1・2時	絵を見て話そう	(本時, 第1時)
第3・4時	話を聞いて絵を組み立てよう	
第二次	絵の完成と説明	4時間
第三次	文章表現	2時間

5 本時の指導

(1) 目標

- 絵カードに関する質問に対して、2つ以上の単語を結んだ文で答えられる。(理解, 表現)

(2) 本時の研究主題に迫るための手だて

- 一問多答の質問や正解のときのピンポン音を用意して、楽しく学習できるような環境を設定する。

学 習 活 動 ・ 内 容	支 援 ・ 配 慮 ・ 評 価
<p>1 本時の学習内容と授業の流れを知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">絵を見て話そう。</div> <p>2 神経衰弱をする。  (1) 授業で使う絵カードをピースにして、ゲーム感覚でウォーミングアップを行う。  (2) ゲームが終わったらもう一度広げて教師が指したものを生徒が声に出して言う。</p> <p>3 絵を見て話す。  (1) 1枚の絵をよく見て、次に複数の似た絵の中から同じ絵を選ぶ。  (2) 違う絵についても、異なる部分を指摘して、違うことを確認する。  (3) 選んだ絵を見ながら場面についての質問に答える。  (4) 出てきたことばをまとめ、簡単な文章にする。  (5) ワークシートに文章を書き込む。</p> <p>4 学習カードに記録する。  (1) 本時の学習内容を記入する。  (2) できたら教師に報告し、シールをもらう。</p>	<p>○ 本時は絵カードを使って学習することを知らせ興味をもって授業に入れるようにする。</p> <p>○ カードが揃ったときには、名前を言って自分のものとする。  ◎ 教師が揃ったときには一緒に発音し、生徒がただ見ているだけにならないようにする。  ○ 間違いを気にしないようにスピーディーに行って、間違えたものは再度指して教師と一緒に発音する。</p> <p>◎ 選ぶのが難しいときには、再度瞬間的に見せてヒントを出す。</p> <p>○ 正しいものと違うものを見比べて、差異がすぐに見つけられるよう、見るポイントをさりげなく示す。  ○ 複数の答えが可能な質問で、生徒が萎縮しないように質問を出していく。  ○ 質問に正しく答えられたときにはピンポン音を出して賞賛する。  ◎ 生徒の口から出たことばはホワイトボードに書き取っておく。  ◎ 生徒が発言したことばを使って文章にまとめることで、自分の発言に自信がもてるようにする。</p> <p>○ 書き終えたら報告することを確認する。報告があったらすぐにチェックして賞賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">理, 表: 質問を聞いて, 単語や簡単な文で答える。(発表)</div>

(4) 板書 (掲示板) 計画

自立活動

【学習課題】絵を見て話そう

1 神経衰弱をしよう

2 絵を見て話そう  
 (1) 正しいのはどれ?  
 (2) どこがちがう?  
 (3) 質問に答えよう  
 (4) 文を作ろう  
 (5) 書きこもう

※  には、現在進行中のマーク  と終了のマーク  をつける。